

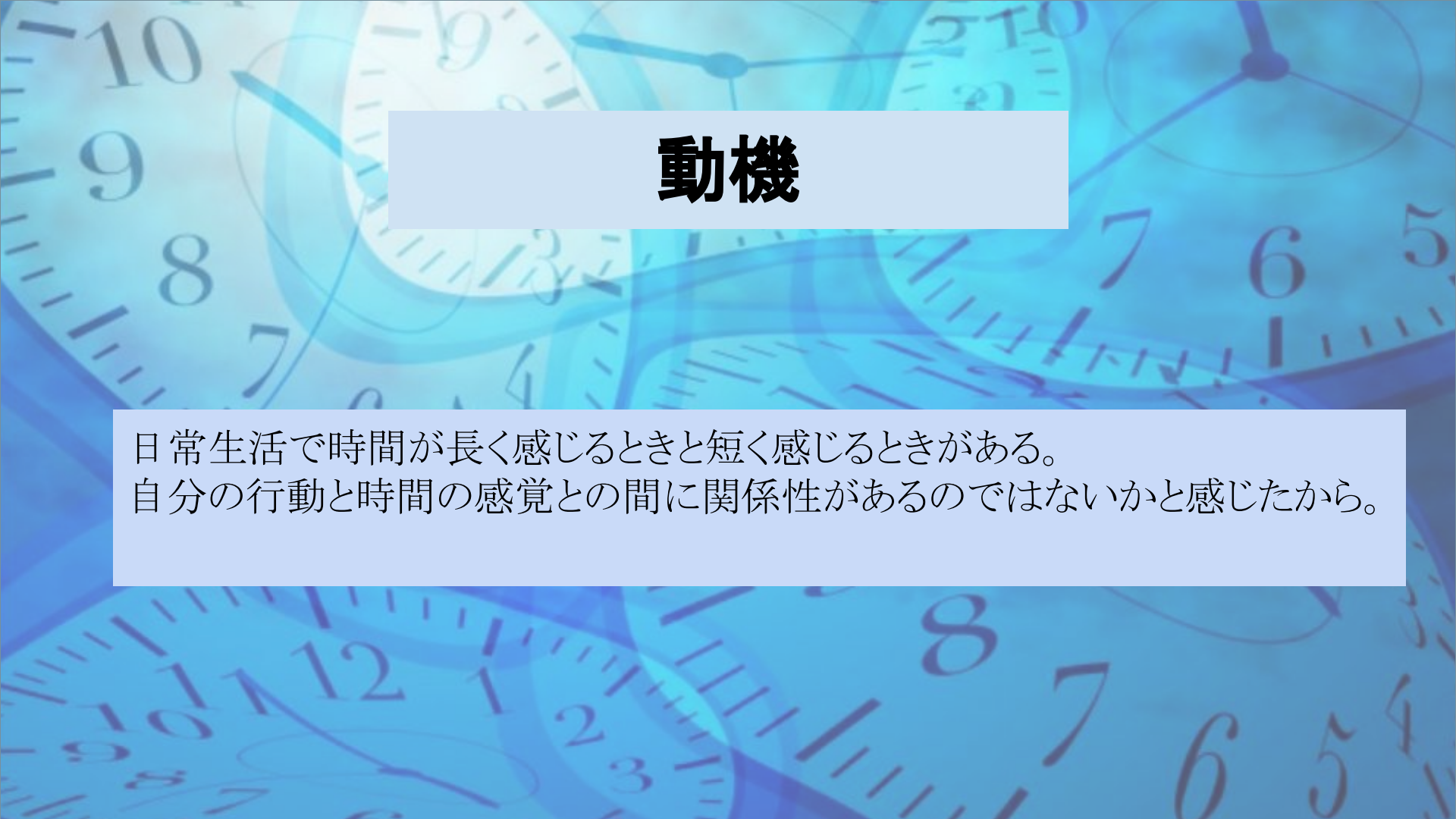


感覚の時間



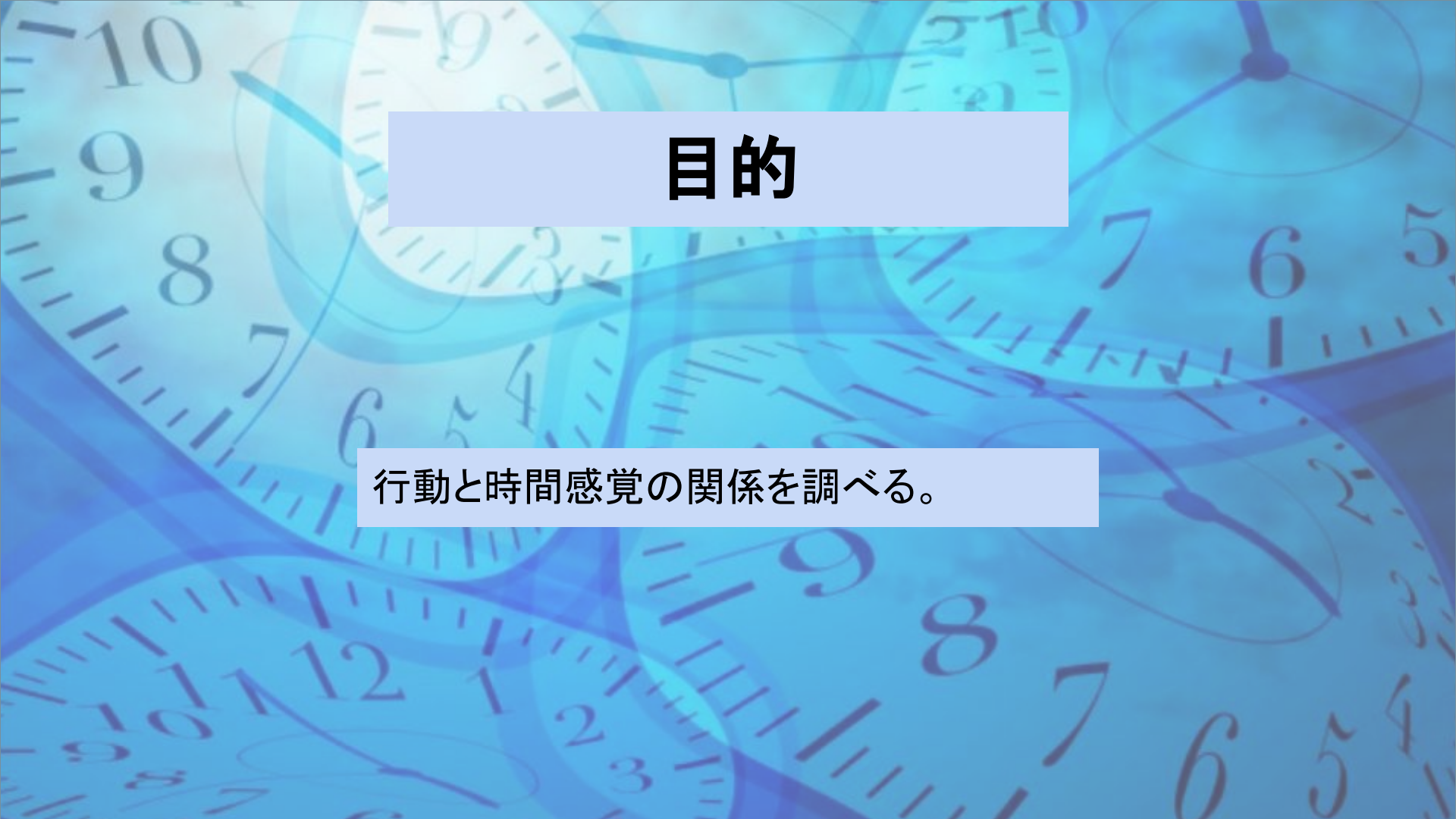
2年6組 4班





動機

日常生活で時間が長く感じるときと短く感じるときがある。
自分の行動と時間の感覚との間に関係性があるのではないかと感じたから。



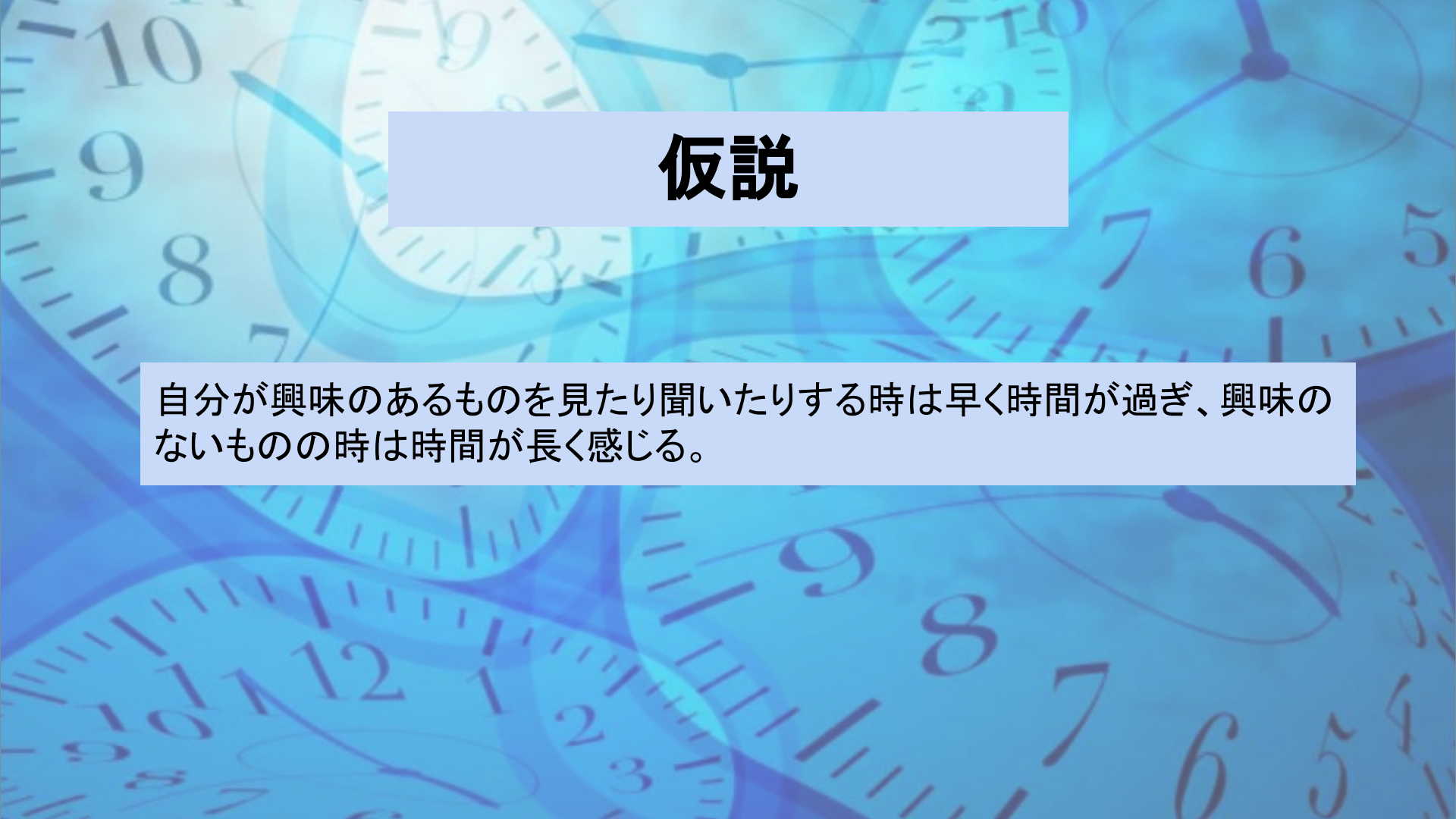
目的

行動と時間感覚の関係を調べる。

方法

- ①目を瞑る&耳栓
- ②自分が好きな勉強する
- ③自分が嫌いな勉強をする
- ④歩く
- ⑤スマホをみる

この5つの条件で開始から10分経ったと思ったときに経過した時間を調べる。



仮説

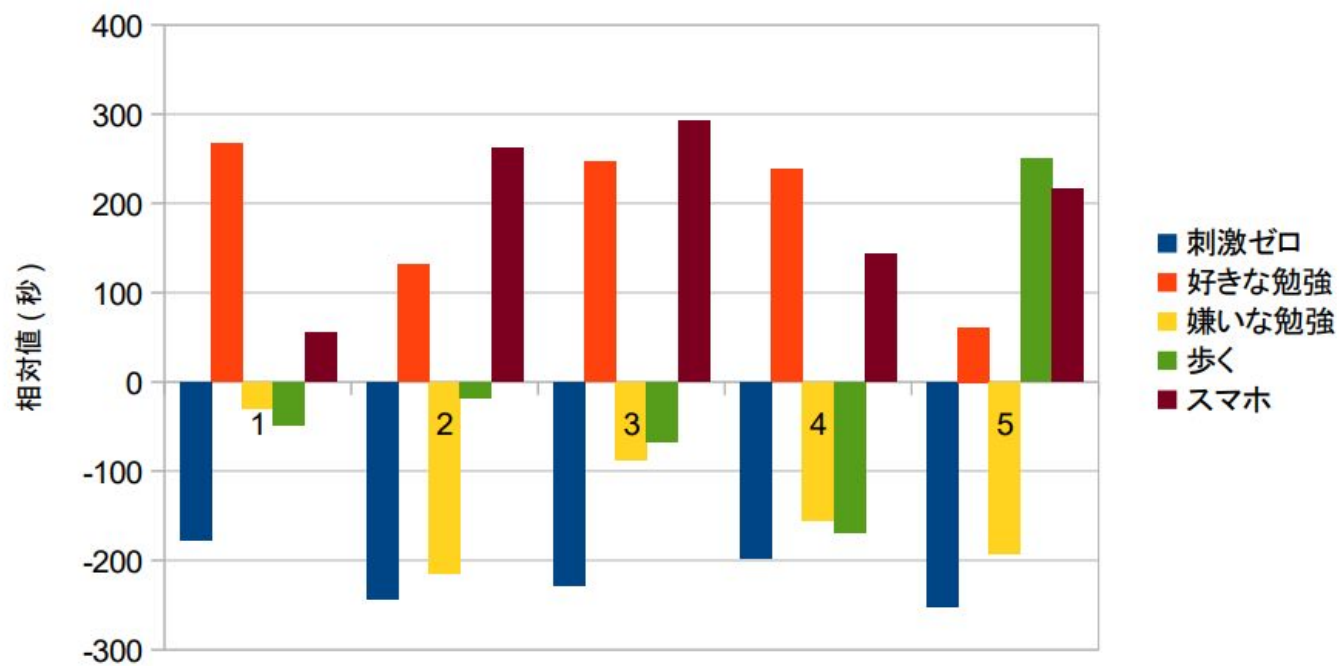
自分が興味のあるものを見たり聞いたりする時は早く時間が過ぎ、興味のないものの時は時間が長く感じる。

実験結果

※カッコ内は10'00基準の相対値を表す。

	刺激ゼロ	好きな勉強	嫌いな勉強	歩く	スマホ
A	07'03(-2'57)	14'27(+4'27)	09'30(-0'30)	09'12(-0'48)	10'55(+0'55)
B	05'36(-4'24)	12'12(+2'12)	06'26(-3'34)	09'42(-0'18)	14'22(+4'22)
C	06'11(-3'49)	14'06(+4'06)	08'32(-1'28)	08'52(-1'08)	14'53(+4'53)
D	06'43(-3'17)	13'58(+3'58)	07'24(-2'36)	07'12(-2'48)	12'23(+2'23)
E	05'49(-4'11)	11'01(+1'01)	06'47(-3'13)	14'10(+4'10)	13'36(+3'36)

考察



考察

- 好きな勉強やスマホなど自分の興味があることを考えている時
 - ➡時間経過以外の事柄に集中する。
 - ➡時間は短く感じる。
- 嫌いな勉強や何もしない時
 - ➡時間経過を考えやすい。
 - ➡時間は長く感じる。

感想

何かに集中する事によって時間が早く感じ、時間経過に気を配ると時間が長く感じるとわかったので、日々の生活で時間を有効活用できるように工夫していきたい。

実験を進める中で、一つ一つの実験後の満足度が条件によって違ったので、人生何事も楽しんでいきたい。

あなたはこの発表が長く感じましたか？
短く感じましたか？

ご清聴ありがとうございました。

